



# WHA GROUP NEWS

WHAグループニュース <http://www.wha-group.com>

vol.42



## WHA、BYDと大型土地売買契約を締結 WHAラヨーン36工業団地にEV生産工場建設 操業開始予定は2024年

物流、工業団地、電力・ユーティリティ、デジタル・プラットフォームを提供するWHAインダストリアル・デベロップメント社は、中国EV大手・比亞迪汽車(BYD)と、WHAラヨーン36工業団地の600ライ区画(96ヘクタール、237エーカー)の土地売買契約を締結したことを発表しました。WHAグループのタイにおける11番目の工業団地であるWHAラヨーン36工業団地は、東部経済回廊(EEC)の戦略的ロケーションに位置します。今回のBYDへの土地売却は、WHAグループにとって過去20年間で最大規模の契約となります。

(BOI)の支援を受け、WHAラヨーン36工業団地に最先端技術を導入したEV生産工場を建設します。2024年の操業開始を目指し、右ハンドル車を中心に年間15万台のEVを生産。ASEAN諸国および欧州に輸出する計画です。

1995年2月に中国で設立されたBYDは、新エネルギー分野で20年以上の経験があります。2022年4月にはガソリン車の生産を停止し、バッテリー式電気自動車(BEV)とプラグインハイブリッド車(PHEV)に注力すると発表しました。2022年8月8日にはRever Automotive社をタイにおけるBYDの総代理店に正式に任命し、初年度のEV販売目標を1万台以上としました。

調印式は、グラントハイアットエラワンバンコクで行われ、WHAコーポレーション社会長兼グループCEOのジャリーポーン・ジャルコーンサクン氏、WHAインダストリアル・デベロップメント社産業・国際部門取締役のデビット・ナードン氏、BYDアジア太平洋地区自動車販売部門ゼネラルマネージャーのLiu Xueliang氏、BYD(タイ)社長のKe Yubin氏が出席。また、両社の取締役らも立ち合いました。

「WHAグループを信頼し、EV生産工場建設を託してくれたBYD経営陣に心より感謝いたします。これはWHAグループにとり誇らしい実績であり、重要なマイルストーンであると同時に、タイの次世代自動車産業にとっても大きな前進となります。タイで11番目の工業団地となるWHAラヨーン36工業団地にBYDを迎えることが

でき、大変うれしく思っています。ワールドクラスの設備とサービス、優れたインフラ、戦略的な立地は、BYDが事業を拡大し、国際的な存在感を高めるための最適な選択となるでしょう。また、WHAグループは、タイを東南アジアのEVハブにするというタイ政府の目標達成を後押しできることを誇りに思っています」と述べています。

一方、Liu Xueliangゼネラルマネージャーは、「WHAラヨーン36工業団地に新しい海外生産拠点を開設することは、BYDの事業拡大の重要な一歩となります」と指摘します。さらに、「タイとWHAラヨーン36工業団地は、抜群のロケーションからも、工業団地開発のリーダーとしての評判からも、理想的なパートナーであり、優秀な人材、世界クラスのサービスと施設、最高品質の物流とインフラなど、まさに私たちが求めていたものを提供してくれました。WHAグループは、EECの自動車産業クラスター拡大において重要な役割を担っています。これらは我々の投資にとって極めて重要な要素であり、WHAグループと相互に有益で長期的な関係を築くことを期待しています」と強調しています。

### WHAラヨーン36工業団地

東部経済回廊(EEC)プロジェクト認定を取得したWHAグループのタイにおける最新工業団地であり、敷地面積は1281ライ(205ヘクタール、507エーカー)です。ラヨーン36のハイウェイ36と3375に近い戦略的な立地で、マプアット深海港から25キロ、ラムチャパン深海港から31キロ、ウタパオ空港から23キロのロケーションにあります。WHAの「スマートエコ工業団地」コンセプトに基づき、WHAラヨーン36工業団地は、通信、移動、セキュリティ・安全、環境制御、水生産と廃水処理の面で最新のデジタル技術と革新的な技術を提供しています。タイ国内の他のWHA工業団地と同様、WHAラヨーン36工業団地も、バンナー地区のWHAタワーにあるWHA(IOC)にリンクしており、大気

質、工業用水・排水の水質分析、雨量、交通状況などの環境パラメータをリアルタイムで監視しています。

### EECの自動車クラスター拡大を支援するWHAグループ

WHAグループとBYD(タイ)との土地売買契約は、タイをが東南アジアのEVハブにするというタイ政府ビジョンの実現に向けた重要な一歩となります。タイ投資委員会(BOI)は、これまでに17社26件のEVプロジェクトを承認しており、タイでは合計83万台のEVを生産することが可能となりました。2023年初頭には、100万台のEV生産が達成できる見通しです。そして、2030年にはタイで生産される自動車の30%、年間70万台をEVにするの目標が掲げられています。

## SET アワード 2022

### WHAのサステナビリティ配慮の事業活動を評価

WHAグループは、タイ証券取引所(SET)からSustainability ExcellenceおよびBusiness Excellence部門で以下の3件のSETアワード2022を受賞しました。

■WHAコーポレーション社:Sustainability Excellence部門Sustainability賞

■WHAユーティリティ&パワー社:Business Excellence部門Best Innovative Company賞

■WHAインダストリアル リースホルド・リアル・エステート・インベストメント・トラスト:Business Excellence部門Outstanding REIT Performance賞

授賞式は「Money & Banking」誌の協力のもと、タイ証券取引所(SET)で開催されました。WHAコーポレーション社会長兼グループCEOのジャリーポーン・ジャルコーンサクン氏は、「WHAグループが、SETアワード2022のSustainability Excellence & Business Excellence

両部門で3つの賞を受賞したことを大変誇りに思います。これらの賞はすべて、イノベーションとテクノロジーを最大限に活用し、サ



WHA コーポレーション社会長兼グループCEOのジャリーポーン・ジャルコーンサクン氏は、マラック・マープラニート Marpraneet 枢密院顧問官からTHAILAND TOP CEO OF THE YEAR 2022賞(不動産部門)を受賞しました。この賞は、新しい世代の経営者にインスピレーションを与え、知識や戦略を伝える能力を持つ組織のトップを表彰するものです。授賞式はARIP PLC傘下のBUSINESS+誌とタマサート大学商学部および会計学部が共同で開催しました。



WHAグループは、WHAグループのもう一つの優先事項であり、チョンブリ・クリーンエネルギー発電所のような太陽光発電所や廃棄物発電プロジェクトの開発を進めています。WHAグループでは今年、太陽光パネルからの電力購入契約(PPA)は150MWに達する見込みで、2023年末までに300MWに固めることを目標としています。また、2021年にカーボンニュートラルを達成し、2050年までに温室効果ガス ネットゼロを達成する予定です。タイ国営石油(PTT)、セルテイスと共同開発したブロックチェーン技術を用いたピアツーピアのエネルギー取引システム「Renewable Energy Exchange(RENEX)」(RENEX)プラットフォームは、プロジェクトのライフサイクルにおいて430万トン以上のCO2排出量を削減します。

WHAグループは、これまでラヨーン36工業団地に排出水処理システムを提供してきています。WHAグループは、これまでラヨーン36工業団地に排出水処理システムを提供しているほか、チャンタブリ県ノックラーでの湿地帯建設プロジェクトに参加しています。

2025年までに、再生水生産能力を日量3万2000m<sup>3</sup>から6万4000m<sup>3</sup>へと倍増し、自然水源からの取水と公共水域への放流の合計690万m<sup>3</sup>を節約し、長期的に水の安全性を確保することを目標としています。また、WHAグループ工業団地の顧客向けに脱塩水や高品質の水を提供することができるようになります。太陽光エネルギーを含むクリー

ンエネルギーは、WHAグループのもう一つの優先事項であり、チョンブリ・クリーンエネルギー発電所のような太陽光発電所や廃棄物発電プロジェクトの開発を進めています。WHAグループでは今年、太陽光パネルからの電力購入契約(PPA)は150MWに達する見込みで、2023年末までに300MWに固めることを目標としています。また、2021年にカーボンニュートラルを達成し、2050年までに温室効果ガス ネットゼロを達成する予定です。タイ国営石油(PTT)、セルテイスと共同開発したブロックチェーン技術を用いたピアツーピアのエネルギー取引システム「Renewable Energy Exchange(RENEX)」(RENEX)プラットフォームは、プロジェクトのライフサイクルにおいて430万トン以上のCO2排出量を削減します。

WHAグループは長年にわたり、社会福祉、教育、青少年、スポーツ、健康、人材育成、地域社会の活性化のコミュニティ・プロジェクトでもリーダーとしての役割を担っています。国連の持続可能な開発目標やESG原則を遵守していることから、SETアワード2022でWHAグループはSustainability Awardsに選出されました。また、SETの不動産・建設分野では3年連続2022年サステナブル銘柄(THSIT:Thailand Sustainability Investment)指数に選ばれています。



### WHAグループがEコマーススタートアップに出資 若者世代のB2C分野成長を支援

WHAコーポレーション社の完全子会社であるWHA Ventures Holding Co., Ltd. (WHAHV)はこのほど、オーディオ機器やゲーム機器その他の娯楽機器などホビー関連製品を専門とするタイのEコマーススタートアップ Mercular に100万米ドルを出資したと発表しました。

WHAHVによるMercularへの出資は6月末に確定。これによりMercularは、プレミアム倉庫や配送センターを含むWHAグループの確立されたロジ

### 転換期を迎える世界の自動車産業とEVハブを目指すタイ

地球温暖化の影響により、再生可能エネルギーやクリーンエネルギーが広く普及しています。自動車産業はこの変化による影響をダイレクトに受ける産業の一つであり、ガソリン車から電気自動車(EV)への移行に迅速に適応していかなければなりません。



タイがASEANナンバーワンの自動車生産拠点であることは紛れもない事実です。これは、タイが地域の中心に位置することから、近隣国への部品などの輸送が容易であるという地理的な優位性によるものです。また、充実したインフラ、多くの熟練労働者の存在により、自動車部品のサプライチェーンが集積しています。

ただ、タイが完璧なEVハブになるためには、技術研究開発センターやEV充電ステーション網などインフラのさらなる整備、サプライチェーン全体でのイノベーションおよび生産技術開発の促進、労働者のスキルアップ、補助金や免税による国内需要喚起などが必要となります。

タイ投資委員会(BOI)の最新レポートによると、タイは日

本・欧州・中国の大手自動車メーカーを含む外国企業・外国人投資家の誘致を強化しています。現在、17社26件のEVプロジェクトが承認されており、これによるEV生産能力は合計83万台に達します。大手メーカーがタイの生産拠点への投資に関心を示しています。中国電気自動車大手BYDは178億9100万バツの大型投資を行い、WHA工業団地の敷地(600ラック)に工場を建設し、バッテリー電気自動車(BEV)を生産する予定です。同社は、タイ国内のEV需要に応えるとともに、ASEANや欧州の海外市場への輸出拠点となることを目指しています。

この投資は、タイの強みを強化し、地域のEVハブになるための重要なステップです。大手自動車メーカーが生産拠点を設けることで、部品メーカーのネットワークも構築され、多くの投資が積極的に進められるようになります。

タイは今後、ASEAN地域だけでなく、世界レベルでEV産業の生産拠点となる可能性を持っているといえるでしょう。

### WHAグループがEコマーススタートアップに出資 タイの従来型商取引のデジタル化を促進

WHAコーポレーション社の完全子会社であるWHAベンチャー・ホールディングス(WHAVH)はこのほど、サプライチェーンのデジタル化データ統合などにより従来の商取引に革新をもたらすタイのスタートアップ、Mungneeに約3400万バツを出資したと発表しました。

Mungneeは先端テクノロジーを駆使してデータを統合することで、タイ国内のブランド、代理店、流通業者、卸売業者、小売業者を結びつけ、迅速な取引を可能とするB2BのEコマースプラットフォームを構築することを目的として2021年に設立されました。同社のプラットフォームは、小売業者の価格プロモーション、品揃えを均等化する一方で、ブランド・代理店、流通業者、卸売業者による店舗・注文・顧客管理およびマーケティングなどの業務プロセスを効率化できます。

WHAHVの出資は、9月初旬にMungneeの第2次シードラウンドの一環として確定しました。これにより、2026年に1兆バツ(300億ドル以上)に達すると推定されるタイの従来型商取引(同国FMCG市場規模の50%を占める)に参入するため、事業能力が可能となります。また、WHAグループが昨年投資した電子物流の新興企業Gizix社が提供するプレミアム倉庫、配送センター、輸送管理シ

ステムなどの物流エコシステムとMungneeのEコマース、サプライチェーンを統合することで相乗効果も期待されます。

「タイの従来型商取引のデジタル化を促進し、加速させるというMungnee社の企業理念は、有望な新興企業と協力して新しい製品やサービスを提供するWHAグループの『デジタル・イノベーション』とトランスフォーメーション計画と合致します。また、この投資は、顧客基盤を拡大し、タイのサプライチェーンを支えるための役割を果たすという戦略とも合致しています。新しい分野に進出し、その変革に貢献することとは、WHAグループにとって新たな拡大チャネルとなるでしょう。WHAグループは、タイの物流業界のリーディングカンパニーとして、イノベーションとテクノロジーの最前線に立つタイのスタートアップや起業家を支援します。事業を拡大し、持続可能な成長を実現するため、タイと周辺地域での新たな投資機会を探求し続けます」とWHAコーポレーション社長兼CEOのジャリー・ポーン・ジャルコン氏は述べています。

Mungneeアプリでは現在、主にタイ東北地方の3県(ウドントラニ、ナコンラチャシマ県、サコンナコン県)を中心に3900店舗を支援しており、2023年には主要12県、2025年初めには36県に拡大する予定です。

### WHAグループ 「2022年タイ・ベスト・マネージメント・カンパニー賞」受賞

WHAコーポレーション社長兼グループCEOのジャリー・ポーン・ジャルコン氏は、デロイト タイランドから「2022年タイ・ベスト・マネージメント・カンパニー賞」を受賞しました。この賞の受賞は、WHAグループが、サステナビリティに根差した企業ビジョンを持つ優良かつ安定した企業として、すべてのステークホルダーからの信頼と信用を得ていると評価されたからです。WHAグループの重要な使命のひとつは、WHAグループだけでなく、タイの明るい未来を実現し、新しい世代の人材育成を支援することです。



### SETアワード2022 WHAUPの ピ・ア・ツ・ピ・ア電力取引プラットフォームを評価

WHAユーティリティ&パワー社(WHAUP)CEOの Somkiat Masunthasuwun氏は、同社が工業団地で実施するピ・ア・ツ・ピ・ア電力取引プラットフォームがSETアワード2022で、Best Innovative Company Awardsを受賞したと発表しました。同プラットフォームは、ブロックチェーン技術を活用し、太陽光エネルギーの売買を自由に行えるように開発されたものです。SETアワード2022では、イノベーションを積極的に取り入れていると評価されています。

Best Innovative Company Awardsの受賞は、ユーティリティと電力事業の発展およびイノベーションにおいてWHAUPがリーディングカンパニーを発揮していることが評価されたものと自負しています。なお、ピ・ア・ツ・ピ・ア電力取引プラットフォームは、工業団地内での太陽光発電プロジェクトの開発を広げる機会ともなっています。「Best Innovative Company Awardsは、WHAUPのすぐれた企業理念と、社会に変化をもたらす高度な事業が評価されたことを示す非常に名誉ある賞です。WHAUPは今後も長期にわたり、国の経済や産業に持続可能な成長をもたらすことに貢献していきます」とSomkiat CEOは述べています。

WHAユーティリティ&パワー社(WHAUP)のPunrapee Noparumpapa電力事業開発部長(写真中央左)、ボグワナーPDS(タイ)社のGregory Michael Bastianブランド・マネジ

### WHAUP&ボルグワナー、 地球温暖化防止で協働 工場屋上設置型太陽光発電設備が稼働

WHAUP社と20年間の売電契約を結び、電力供給を行います。この環境に優しい、クリーンエネルギープロジェクトでは二酸化炭素の排出量を最大1万2500トン削減。さらに、プロジェクト導入により、ボルグワナー社は契約期間中、エネルギーを2039万6890ユニット削減することができます。今後、クリーンエネルギーの重要性を提唱する両社は温室効果ガス削減政策「ネットゼロ」に向け協働していきます。



WHAユーティリティ&パワー社(WHAUP)のPunrapee Noparumpapa電力事業開発部長(写真中央左)、ボグワナーPDS(タイ)社のGregory Michael Bastianブランド・マネジ

### SETアワード2022 WHAIRが Outstanding REIT Performance Awardを受賞

WHA イングストリアル・リースホールディング・リアル・エスティー・インベストメント・トラスト(WHAIR)は、タイ証券取引所(SET)が主催するSETアワード2022でOutstanding REIT Performance Awardを受賞しました。新型コロナウイルス感染症拡大の厳しい経済・産業状況下において、危機を乗り越え、優れたコーポレート・ガバナンスとタイ証券取引所の規則の遵守業績と持続可能な成長が評価されました。

WHA Industrial REIT Management社長のJarucha Satimantont氏は、「WHA REITマネージャーとして、SETが主催するSETアワード2022でOutstanding REIT Performance Awardを受賞することができ、今年度はWHAIRにとって重要な年となりました」と述べています。



WHAIRは今年、東部経済回廊(EEC)およびハイテクカピ工業団地(プラチンプリ県)で土

地工場建物倉庫の賃借権への追加投資第4弾(13億4589万バツ)超を予定しています。この投資によりWHAIRの総資産は130億バツ以上となります。WHAIRはEECにおいて高いリターンが期待できる投資対象であり、今後も着実な成長が見込まれる投資先として注目されています。





## コンパル・エレクトロニクス社幹部、WHAインダストリアルゾーン1・ゲアンを視察

WHA インダストリアルゾーン1・ゲアンではこのほど、デスクトップ、ラップトップ、スマートフォンの電子部品を製造する台湾のコンパル・エレクトロニクス(コンパル)の役員らの視察を受けました。同社幹部らは、事業拡大のため土地購入や開発機会を調査するため現地を訪れました。



WHA インダストリアルゾーン1・ゲアンではこのほど、デスクトップ、ラップトップ、スマートフォンの電子部品を製造する台湾のコンパル・エレクトロニクス(コンパル)の役員らの視察を受けました。同社幹部らは、事業拡大のため土地購入や開発機会を調査するため現地を訪れました。

コンパル社がWHAインダストリアルゾーン1・ゲアンに関心を寄せたことは、エレクトロニクス・クラスターとしてベトナム北部が認知されたことを裏付けています。同省は戦略的な立地にあり、空路、海路、陸路の交通の便が良く、また熟練労働者も多く、WHAインダストリアルゾーン1・ゲアンはワールドクラスの工業団地として国内外の投資家を魅了しています。



Kyungshinゲアン社はこのほど、WHAインダストリアルゾーン1・ゲアンで新工場の建設着工式を行いました。新工場の敷地面積は4.99ヘクタール、総投資額は2100万米ドルとされています。WHAグループはKyungshin ゲアン社を歓迎し、今後の発展を祈念いたします。

## Kyungshinゲアン社、WHAインダストリアルゾーン1で新工場建設着工式を開催

WHA インダストリアル・デベロップメント社国際部部長のアンチャーリー氏、ドンナム経済区管理委員会の Le Tien Tri 代表が投資環境・条件、潜在的投資家などについて意見交換を行いました。また会議では、税関総局代表がコンパル社側からの質問に答え、ゲアン省に新たに投資する企業に対しての支援を約束しました。

WHA インダストリアル・デベロップメント社国際部部長のアンチャーリー氏、ドンナム経済区管理委員会の Le Tien Tri 代表が投資環境・条件、潜在的投資家などについて意見交換を行いました。また会議では、税関総局代表がコンパル社側からの質問に答え、ゲアン省に新たに投資する企業に対しての支援を約束しました。



## WHA ID 役員、「第20回タイ国外投資サポートセンター」でスピーチ

WHAグループは2022年8月25日、クアンナム省経済区・工業団地管理委員会と了解覚書(MOU)を交わしました。クアンナム省はベトナム中部に位置し、「東西経済回廊」の戦略的中心地となります。開発対象となる総面積は約400ヘクタールです。

WHAグループ傘下で、物流・工業団地・電力ユーティリティ・デジタルプラットフォーム分野でのタイのリーディングカンパニーであるWHAインダストリアル・デベロップメント社(WHA ID)は、ベトナムのクアンナム経済区・工業団地管理委員会と「WHAスマート・エコ工業団地」開発に関する了解覚書(MOU)を締結したと発表しました。WHAスマート・エコインダストリアルゾーン・クアンナムは、総面積約400ヘクタール。北はダナン省、南はクアンガイ省の間に開発される予定です。

MOUには、クアンナム経済区・工業団地管理委員会がベトナムの法律に基づき、投資方針の承認やプロジェクトに必要なその他の許可の取得をサポートすることが明記されています。WHAスマート・エコ インダストリアルゾーン・クアンナムは、クアンナム省とクアンガイ省を含むベトナム中部地域の中心であり、戦略的なロケーションに位置しています。クアンナム省は人口150万人で豊富な労働力と自動車や電子機器などの既存の産業基盤があります。クアンナム省でも新しい工業団地の計画・承認を得ており、ベトナムでの成功を続けています。クアンナム省では、ベトナムの主要な地方での産業拡大戦略を実施し、長期的に投資を継続していきます」と述べています。

## WHAグループ、ベトナム中部クアンナム省で工業団地建設へ

建設開始は2024年の予定です。「WHAスマート・エコ インダストリアルゾーン・クアンナムは、東西経済回廊を強化し、ベトナム中部の製造業のクラスターとなることを確信しています。クアンナム省で展開している他のプロジェクトと同様、WHAグループは環境に優しい最新の技術を導入し、長期的な経済成長を促進します。これらの強みを活かして、日本、韓国、台湾、ヨーロッパ、米国、その他の国々からの価値の高い海外直接投資(FDI)を期待しています」と、WHA コーポレーション社副会長兼WHAインダストリアル・デベロップメント社産業・国際部門取締役のデビッド・ナードン氏は話します。

## ホワリ・インダストリアル・グループ、WHAインダストリアルゾーン・ゲアン社と土地賃貸借契約を締結

契約書署名式で最終確認を行うWHAインダストリアル・デベロップメント社国際部部長のアンチャーリー氏(左から4人目)、WHA インダストリアルゾーン・ゲアン社社長のNguyen Thi Bich Lien氏(同3人目)、ホワリ・インダストリアル・グループ社長のZhang Congyuan氏(中央)と同社副社長のTseng Jung Huei氏

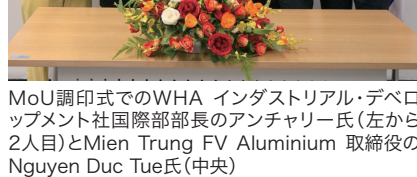
ホワリ・インダストリアル・グループ(中山華利実業集団股份有限公司)は2022年7月27日、製造工場開設のためWHAインダストリアルゾーン・ゲアン社と土地賃貸借契約書を締結しました。1975年創業のホワリ・インダストリアル・グループは、世界有数の靴ブランドメーカーとして急速にその地位を確立しています。消費者の要望に沿った競争力の高い靴を製造するためのプロセスと革新的な靴のソリューションを提供することを使命とするホワリ・グループは、台湾本社を中心に、中国、ドミニカ共和国、ベトナムに3カ所の開発センターと16の工場を持ち、常に成長を続けています。



WHA インダストリアルゾーン・ゲアンにあるホワリ・グループの靴開発・製造工場は、総投資額4300万米ドル、年間合計1300万足の靴を生産・輸出する見込みです。ベトナムの経済発展に大きく貢献することが期待されます。

## Kyungshin Nghe An、WHAインダストリアルゾーン1・ゲアンに新工場を設立

(株)京信の子会社、Kyungshin Nghe Anはこのほど、WHAインダストリアルゾーン1・ゲアンに年間約30万個の自動車用ワイヤーハーネスを生産する新工場を設立するため土地賃貸借契約を締結しました。



## Mien Trung FV Aluminium、WHA インダストリアルゾーン1 - ゲアンでの事業拡大

工業用アルミニウム・メーカー Mien Trung FV Aluminium社は、このほど、WHA インダストリアルゾーン1 - ゲアンでの事業拡大のため土地賃貸借の了解覚書(MOU)を締結しました。プロジェクトの建設開始は2022年の第4四半期中の予定です。投資資金は600万米ドルの予定です。





# WHA GROUP ニュースダイジェスト

## WHA ID

### ニホンイチフード(タイ) WHAサラブリ・インダストリアルランドで新工場開所式

冷凍鶏肉や焼き鳥など総菜の製造・販売会社、ニホンイチフード(タイ)社は、WHAサラブリ・インダストリアルランド(WHA SIL)で新工場オープニングセレモニーを開催しました。WHA SILは、タイの北部、東部、南部、そしてバンコクの2つの国際空港へのアクセスも良い理想的なロケーションにあり、新工場では鶏肉製品の生産能力を増強し、東南アジアで高まる需要に応じていきます。



### クアンタムSPT、 事業拡大のためWHAラヨン36工業団地の用地購入

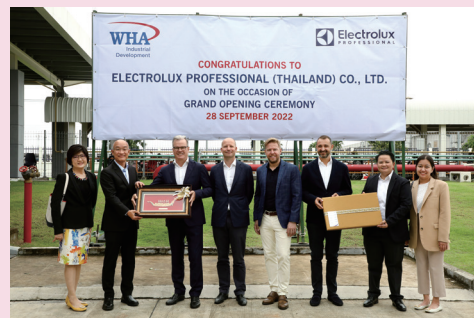
オーストラリアに本社を置く超高压電動サーボポンプメーカーのクアンタム SPT 社は、このほど、東部経済回廊(EEC)にあるWHAグループの最新工業団地、WHAラヨン36工業団地の用地を購入しました。同社は、グリーンポンプ技術を用いた高品質な製品を製造する最新鋭の施設を建設する予定です。

調印式では、WHAインダストリアル・デベロップメント社営業担当副社長のラッター氏(写真中央)と工業用地顧客開発担当取締役の湯浅謙一氏(右から2人目)が、同工業団地最初の顧客であるクアンタムSPT社長Mario Schiller氏(左から2人目)を歓迎しました。同社の最新鋭工場は地域の顧客の増大する需要に対応するための施設となる予定です。



### エレクトロラックス・プロフェッショナル、 WHA RILに新施設をオープン

ホスピタリティ業界向けの専門調理器具や飲料、ランドリー製品を提供するエレクトロラックス・プロフェッショナル(タイ)はこのほど、東部経済回廊(EEC)内のWHAラヨン工業団地(WHA RIL)で新施設のオープニングセレモニーを開催しました。この近代的な施設では最新技術により多種の高品質製品を生産。地域での事業を拡大していく計画です。



### カーディナルヘルス社 WHAイースタン・シーボード工業団地4で新工場着工式

総合ヘルスケアサービスや医薬品・医療機器を提供するグローバル企業であるカーディナルヘルス社が、WHAイースタン・シーボード工業団地4(WHA ESIE 4)でワールドクラスの施設着工式を執り行いました。東部経済回廊(EEC)の戦略的立地を背景とする新施設は、この地域に止まらず海外顧客の高まる需要に応えるための拠点となります。



## CSR

### WHAグループ 教師向けアートキャンプをイースタン・シーボード工業団地で開催

WHAグループはイースタン・シーボード工業団地(ラヨン)で第10回教師向けアートキャンプを開催しました。この4日間のイベントではラヨン県とチョンブリ県の14校から26名の教師が参加し、芸術のスキルを高めるとともに、天然資源を保護することの重要性を学びました。アートキャンプではWHAグループの「Clean Water for Planet」プロジェクトが紹介され、水の保全について学んだ教師らは、ここで学んだことを今後は生徒たちに伝えることができるようになります。

参加者はラヨン県にある王室管轄のプリアックデー開発・サービスセンターで、ラーマ9世の教えやドックライ貯水池の歴史に触れるフィールドトリップにも参加しました。生態系のバランスを保つために、5000匹の魚の放流も行いました。



## CSR

### WHAグループ 健康と環境意識高めるウォーク&ランと植樹活動を共催

8月12日のシリキット王太后90歳のお誕生日を祝福して、WHAグループ、タイ工業団地公社(IEAT)、WHA工業団地入居企業らは共同で、健康と福祉を促進する5キロのウォーク&ランイベントを開催しました。ラヨン県プリアックデーにあるノンプラライ貯水池で行われた早朝ウォーク&ランイベントには350人以上の参加者が集まり、その後、環境保護、温室効果ガス削減、地球温暖化防止のための植樹プロジェクトが行われました。



参加者は、グルジャン、竹、イエロートランペットツリーの苗木を合計2800本植えました。これにより3年間で5万9586kgのCO2を削減することが期待されています。このイベントの収益は、プリアックデー病院に寄付され、医療機器の購入に充てられる予定です。

### WHAUP チャンタブリ県自治体に「人工湿地プロジェクト」を納品

WHA ユーティリティ&パワー社(WHAUP)は、タイ工業団地公社(IEAT)、ワンタノット水域チーム、ノンクラ地方自治体、タイ工業団地戦略パートナー協会、水環境研究所、タイ工業連盟、マブタット工業団地プラント・マネージャー・クラブと共同で、チャンタブリ県ノンクラ地区に建設した排水処理用ワンタノット湿地の落成式を開催しました。



WHAインダストリアル・デベロップメント社産業・国際部門COOのヴィワット・ジラティカルンサク氏は、WHAUP CEOの Somkiat Masunthasuwun氏、同COOの Akarin Prathuangsit氏、ユーティリティ事業開発部取締役のVaranon Laosuwan氏とともに、IEAT副総裁のPratheep Aengchuan氏、東部河川流域管理小委員会委員長のPichet Tanaset委員長、チャンタブリ県知事のSuthee Thongyaem氏立ち合いのもと、ノンクラ地方自治体に完成した人工湿地帯プロジェクトを納品しました。落成式には政府高官、協会、大学、地域の代表者も出席しました。現在、1日400㎥、将来的には800㎥の処理能力を持つこの排水管理・処理プロジェクトは、WHAUPの「Clean Water for Planet」イニシアティブの下、15ライの土地に建設しました。ノンクラ自治体の排水は、タイファヤジャケツイバラ科ホウオウボク属の落葉低木の植物と、有機物を吸収する微生物を用いた自然の力を利用した環境浄化技術により生物学的に処理されます。また太陽エネルギーも利用し、環境保全とサステナビリティの重要性を訴えています。

### WHAグループ、 職業訓練生への奨学金支給を11年連続で実施

WHAグループは、ラヨン県バンカイ技術専門学校と協力し、経済的困難に直面する優秀な人材育成のため11年連続で、職業訓練生を対象に、後期中等教育(職業高校)や大学進学のための奨学金を提供しています。WHAグループはこれまで102名の学生に奨学金を支給してきました。これらの奨学金は、若者の教育機会の促進や労働力の育成に役立っており、東部経済回廊(EEC)開発プロジェクトの推進を後押しすることにもなっています。またWHAグループでは奨学生が在学中にインターンシップを行う機会を提供し、WHA工業団地の顧客企業との調整を行っています。

現在、工業団地を含むタイの労働市場では、より多くの労働力が必要とされています。質の高い労働力として専門学校や大学の卒業生が求められていますが、卒業までの学費が不足しているケースが少なくありません。そこでWHAグループは、これら若者に奨学金を支給することで、人材育成を進め、タイ労働市場に質の高い労働力を供給するお手伝いをしています。WHA コーポレーション社会長兼グループCEOのジャーリーポーン・ジャルコンサクン氏は、「学生のQOL向上に貢献できることを嬉しく思っています。私たちが提供する奨学金は、単に知識や技術を向上させるだけでなく、若者が自分の好きなことを発見する機会を提供するものです。これは、タイの産業を発展させるための強固な基盤ともなるはず」と述べています。

WHAグループにとってのビジョンは、倉庫、配送センター、工場、統合型工業団地の開発におけるリーダーとなることです。奨学金支給は、若者のより良い生活を支援するだけではありません。顧客企業や産業を安定させるための重要なカギとなるのです。WHAグループはさらに、在学中の奨学生に、企業インターンシップの機会を提供しています。学校で理論を学ぶとともに、実際に仕事を体験し、自分の適性を見極める機会を学生に与えるためです。WHAグループでは、タイの若者に知識とキャリアの機会を提供することの重要性を常に意識しています。バンカイ技術専門学校長のPrateep Chulalert氏は、「バンカイ技術専門学校の教育方針は、学生に卒業後必要となる知識を与え、良い仕事を与えることで、彼・彼女らがリーダーとなり国の発展へと導き、さらにはその知識を次世代に伝えていくことができるようにすることです。これは、産業界の発展と社会の幸福を大きく後押しするものです」と述べています。

また、バンカイ技術専門学校教師のYossapon Inchan氏は、「奨学生には、勤勉に学び続け、社会と国のために良き市民として成長する意思を持ち続けてほしいと思います。WHAグループの奨学金制度に感謝します。学生たちがさらに勉学を進め、WHA関連企業でインターンシップを行い、将来成功するために必要な経験を積み素晴らしい機会となっています」と話しています。

一方、奨学生を代表してArthit Damkrathokさんは、「このような素晴らしい機会を与えていただき、嬉しく、誇らしく、光栄に思っています。私は現在、製造業について学んでいますが、将来は海外で働き、故郷の家族を養うために良い収入を得たいと思っています。私や私の友人たちに、将来成功するための基礎となる奨学金を与えてくれたWHAグループに、改めて感謝したいと思います。これからも一生懸命勉強して、自分の夢を実現できるように頑張ります」と決意を語っています。